

GXを東京から推進する「TOKYO GX ACTION」の一環で アシカショーとコラボしたイベントを開催

特設サイト URL : tokyo-gx-action.jp

東京都は、2030年のカーボンハーフ、2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、化石燃料からクリーンエネルギー中心の社会へと転換するGX(グリーントランスフォーメーション)の取り組みを加速させていきます。都民一人ひとりがGXを理解し、行動を変えていくことを目指す東京都のプロジェクト「TOKYO GX ACTION」の一環として、2025年3月20日(木)、遊園地「よみうりランド」(東京都稲城市)で、アシカショーとコラボしたイベント「～TOKYO GX ACTION×アシカショー～みんなで楽しみながらGXアクションを学ぼう!」が始まりました。

20日のイベントには多くの家族連れや若者が来場。アシカのかわいらしい姿に声を弾ませながら、GXに関する理解を深めました。このイベントは、4月4日(金)まで毎日、よみうりランドの「アシカ館」で行われます。



〈イベントの目的〉

本イベントは「TOKYO GX ACTION」の一環として、次代を担う子どもたちにGXに関連する取り組みを知ってもらい、環境問題への意識を高めてもらうことを目的としています。イベントでは、二酸化炭素(CO₂)の排出削減に関する〇×クイズなどが行われ、よみうりランドを訪れた子どもたちや保護者の皆さんにクイズに答えなが

らGXに関する知識を学んでもらいます。アシカたちは様々な芸を披露し、イベントを盛り上げます。イベントは4月4日（金）まで、1日につき3、4回行われるアシカショーとコラボする形で実施されます。

〈初日の内容〉

20日午前11時40分頃に始まった初回には、アシカの「すもも」「ゆず」「カン太」の3頭が登場しました。スタッフはCO₂が増えると地球温暖化が進むことを子どもたちにも分かりやすい言葉で説明し、クイズを出題しました。

1問目は「CO₂を出す量が少ないのは、ペットボトルではなくマイボトルである」というお題について○か×のいずれかで答える問題で、多くの観客は腕で○を作って回答しました。ステージ上の「すもも」も素早く前脚を挙げて正解がわかったとアピール。○のボードをくわえてプールを泳ぎ、客席側にいるスタッフに渡しました。正解が○と発表されると、子どもたちは大喜び。その後、スタッフはマイボトルやエコバッグを使って地球に優しい行動をとるよう呼びかけました。



2問目は「CO₂を出す量が少ないのは、電気自動車ではなくガソリン車である」というお題。今度は「ゆず」が×のボードを同じようにスタッフに渡して正解を発表し、観客を沸かせました。続いて、5月17、18日に行われる「TOKYO GX ACTION」のイベントと同時開催で電気自動車の世界的なレースが開催されることが紹介されました。合計3問のクイズに正解した観客には「TOKYO GX ACTION」のオリジナルステッカーが贈られました。

クイズの後には、2頭より一回り大きな「カン太」が、地球を描いたバルーンを鼻に載せる芸を見せ、生き物が暮らしやすい地球になるようアピールしました。

20日午後1時40分頃からの2回目には、「ひらり」「すもも」「ゆず」「ライム」の4頭が登場し、観客を楽しませました。



〈参加した子どもたちの反応〉

イベント中、子どもたちはアシカの芸にくぎ付けになりながらクイズに挑戦しました。参加した小学生たちは「日頃のCO₂の排出について考え直したい。もっと地球温暖化について知りたい」「知らなかったことをいっぱい知ることができた。（地球）環境を穏やかにしていきたい」と話しました。子どもたちはイベントを通じてGXの世界に触れ、地球温暖化の防止に関心を持った様子でした。

『TOKYO GX ACTION』公式ホームページ／SNS アカウント

公式ホームページ



X



Instagram



<https://tokyo-gx-action.jp>